

## ②風の吹き込みによるハウスの浮き上がりに対する補強

### ア. 妻部への防風ネットの展張による補強

妻部に近い1スパン分（2～3m）と側面部の風当たりの強い部分には寒冷紗などを張ります。**妻の部分は、特に風を強く受けるため、この部分が破れやすく、寒冷紗等を張ることによって被覆材が破れにくくなります（図-15）。**

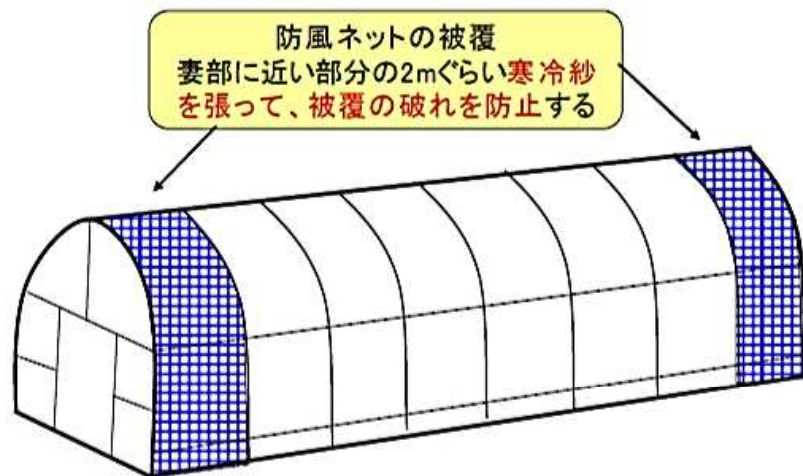


図-15 パイプハウスの妻部への防風ネットによる補強事例